

食塩水の濃さとは

<食塩水の問題の考え方>

水の中に塩(食塩)を入れると塩水(しおみず)になります。

これを食塩水といいます。

つまり、食塩 + 水 = 食塩水 です。

食塩水の濃さ とは しよっぱさ の割合です。

濃さ = $\frac{\text{部分}}{\text{全体}}$ で表されます。

全体は 食塩 + 水

部分は 食塩

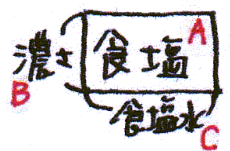
↓

$$\text{濃さ} = \frac{\text{食塩}}{\text{食塩} + \text{水}} = \frac{\text{食塩}}{\text{食塩水}}$$

(★) 予習シリーズでは、ビーカーを使って
下の図のように表しています。

$\frac{\text{食塩}}{\text{食塩水}} \xrightarrow{\text{分数}} \text{濃さ}$ ⇒ $\text{食塩} \div \text{食塩水} = \text{濃さ}$
 $\text{食塩} = \text{食塩水} \times \text{濃さ}$

(★) 濃さの位置をビーカーの下ではなく左につけたいので
ヘクトパスカルでは右図のような長方形を使った面積図を用いて説明をすることがおおいです。



面積を食塩の量とします。

$$A = B \times C$$

$$B = A \div C$$

$$C = A \div B$$

※ B の濃さ(%)は小数で表します。